

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_1

事業名	51100 農業委員会運営費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	
					款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
					項	1	農業費		施策概要	5	担い手の育成・確保		
					目	1	農業委員会費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課		内線	2227									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・優良農地の保全と有効活用の観点から、農業委員会がより一層農地保全に資する客観的・中立的で公正な判断を行う。 ・農業委員会の効率的かつ透明な組織運営を行う。	概要	・農業委員会の審議・活動の「見える化」推進 ・農業委員会の総会の公開と、議事録の公表 ・日常的な「農地/バトルール」の実施 ・遊休農地の発生防止と解消、違反転用の防止
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
担い手への農地集積率	40.9%	39.9%	50.0%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		14,466	13,904	21,091	21,091	20,202
特定財源	国費 ()					
	県費 (農業委員会費10/10、県移譲事務交付金)	1,682	1,734	5,184	5,184	4,752
	その他 (農業者年金業務雑入)	1,200	1,492	1,200	1,200	1,314
一般財源		11,584	10,678	14,707	14,707	14,136
個票枝番	主な事業内容					
	農業委員会委員報酬	9,364	9,364	7,146	7,146	7,298
◎ 1	農地利用最適化推進委員報酬			8,991	8,991	8,372
	農業委員会委員報酬(地区委員)	2,230	2,020	2,230	2,230	2,020

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・農業委員会の開催(12回) ・機関紙の発行(4回) ・農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員定数変更及び農地利用最適化推進委員新設について農業委員会等と協議を行い、条例、規則等の整備を実施 ・農業委員の選出方法改正による新たな農業委員等の選出方法を知ってもらうため、支所とともに農家への説明会を実施 ・行政に対して「意見書」を提出し、新年度事業の政策提言を実施(2回)
評価等	・農業委員の任期満了に伴う改選は、新たな制度によって行うため、農家への制度内容の周知を図った。 ・農業委員会の必須業務となった農地利用最適化の推進が円滑に遂行されるよう、委員会業務内容、関係法令、制度の把握に向けた研修会を開催した。
次年度以降の考え方(担当課)	・担い手への農地集積・集約化及び遊休農地の解消・防止を図るためには、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携した活動を行う必要がある。 ・農業競争強化プログラムを積極的に活用し、経営の合理化・高度化に向け支援を行うため、将来の農地利用と担い手等に関する地域の合意形成を築いていく必要がある。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・農業委員会の開催(12回) ・機関紙の発行(4回) ・農業委員、農地利用最適化推進委員合同研修会を開催(1回) ・農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員19名の任命及び農地利用最適化推進委員45名の委嘱を行った。 ・改良組合等を通じ全農家に農家意向アンケートを配布し、農地についての規模拡大、縮小の調査を行い、出し手と受け手のマッチングを推進した。 ・行政に対して「意見書」を提出し、新年度事業の政策提言を実施(2回)
評価等	・農業委員の任期満了に伴う改選は、新たな制度によって行うため、改良組合等を通じ農家への制度内容の周知を図った。 ・農業委員会の必須業務となった農地利用最適化の推進が円滑に遂行されるよう合同研修会を開催し、委員会業務内容、関係法令等の周知を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・担い手への農地集積・集約化及び遊休農地の解消・防止を図るためには、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携した活動を行う必要がある。 ・農業競争強化プログラムを積極的に活用し、経営の合理化・高度化に向け支援を行うため、将来の農地利用と担い手等に関する地域の合意形成を築いていく必要がある。 ・農地利用最適化推進委員が農地の結びつけに向けて、より効果的な活動ができるよう周知する必要がある。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	－
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	(d)－(c)
25,762	22,999	22,999	1,908
8,347	8,208	8,208	3,024
1,314	1,200	1,200	0
16,101	13,591	13,591	△ 1,116
査定額	説明		
6,407	19人		
11,988	45人		
2,040	204人		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・農業委員、農地利用最適化推進委員等の活動支援に係る経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

23_農務課.xlsx_1

事業名	51100農業委員会運営費	区分	☒ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	5	農林水産費		
			☐ その他重要事業			項	1	農業費		
			☐			目	1	農業委員会費		
枝番・内容	1農地利用最適化推進委員報酬								内線	2227
									作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業委員や地区委員と連携し、優良農地の保全及び遊休農地の解消に向けた推進を図る。	概要	・優良農地の保全及び遊休農地解消に向けた農地のマッチング ・地域の合意形成活動の積極的な実施 ・農地中間管理機構と連携した農地集積 ・認定農業者や集落営農などの掘り起こし
----	---	----	--

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	8,991
主な経費	・農地利用最適化推進委員への報酬	
対前年度増減額(当初予算)		8,991

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	8,991
	繰越	
	補正等	
	最終	8,991
決算額		8,372
対前年度増減額(決算)		8,372

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	11,998
主な経費	・農地利用最適化推進委員への報酬	
対前年度増減額(当初予算)		3,007

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・農地利用最適化推進委員報酬(45名) ・農地利用最適化推進委員研修会の開催。 ・優良農地の確保及び効率的な農地利用が図られるよう推進する。		
[スケジュール]		
・平成29年7月20日(木) 農地利用最適化推進委員委嘱式		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業実績]	
・農地利用最適化推進委員報酬(45名) ・農地利用最適化推進委員研修会の開催。 ・優良農地の確保及び効率的な農地利用が図られるよう推進する。	
[スケジュール]	
・平成29年7月20日(木) 農地利用最適化推進委員委嘱式	
次年度以降の考え方(担当課)	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
・農地利用最適化推進委員報酬(45名) ・農業委員、農地利用最適化推進委員合同研修会を開催(1回) ・農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員19名の任命及び農地利用最適化推進委員45名の委嘱を行った。	
[評価]	
・農業委員会の必須業務となった農地利用最適化の推進が円滑に遂行されるよう、委員会業務内容、関係法令、制度の把握に向けた合同研修会を開催し、今後の推進委員の活動を促進することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・担い手への農地集積・集約化及び遊休農地の解消・防止を図るためには、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携した活動を行う必要がある。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・農地利用最適化推進委員報酬(45名) ・農業委員、農地利用最適化推進委員大会(1回) ・遊休農地解消に向けた現地調査及び農地借受希望者とのマッチング。	
[スケジュール]	
・平成30年8月29日(水)農業委員・農地利用最適化推進委員大会(関市)	
次年度以降の考え方(担当課)	

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_3

事業名	51200 農業振興地域整備計画推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業のひとつである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産事業費		個別分野	5	農業		
					項	1	農業費		施策概要	1	活気ある農業生産地づくり		
					目	2	農業総務費		根拠計画	農業振興地域整備計画、産業振興計画			
					担当課	農政部 農務課			内線	2222			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業生産活動に必要な条件を備えた農業地域を保全・形成する。 ・農業災害補償法に基づき、農産物、家畜等の災害に対する共済事業を広域的に共同運営することで運営コストの削減と、農家の経営安定、生産支援、地域支援(情報の収集)、組織体制強化を行う。 ・各種団体との情報交換等による地域農業の振興を図る。	概要	・農業振興計画(農地利用計画)により、集团的優良農用地の確保に努めるとともに、農業者等地域の諸情勢の変化に対応できるよう計画の変更等の管理を行う。 ・農業災害補償法にかかる事務を3市1村の事務組合で行う。 ・飛騨農業振興会、飛騨地域農業再生協議会、飛騨エアパーク協会等への加入
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
認定農業者	545経営体	532経営体	585経営体
農業粗生産額(畜産含む、年間)	239.7億円	231.5億円	205億円
担い手への農地集積率	40.9%	39.9%	50.0%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		83,637	83,274	83,979	85,161	84,766
特定財源	国費()					
	県費(県委譲事務交付金)	45	45	76	76	60
	その他()					
一般財源		83,592	83,229	83,903	85,085	84,706
個票枝番	主な事業内容					
	飛騨農業共済事務組合負担金	75,946	75,946	76,735	76,735	76,735
	農業振興地域整備促進協議会委員及び農業経営基盤強化推進会議委員謝礼	380	161	380	380	120

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・農業振興地域整備促進協議会及び農業経営基盤強化推進会議を各1回開催した。 ・各種団体の活動に積極的に参加し、地域農業の振興を図った。 ・局所的な災害が増加していることから、各種共済の加入を促進した。
評価等	・水稲作付面積が減少傾向にある中で水稲共済引受面積も年々減少している。 ・園芸施設共済面積は平成27年度より857棟(26戸)増加したことから、新規就農者の育成・確保及び意欲ある担い手の大規模経営化が進んでいると考えられる。 ・各団体の活動目的はそれぞれ異なるものの、活動内容については事業効果を踏まえて見直す必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・局所的な災害が増加していることから、今後も各種共済の加入促進に努める。 ・各団体の活動内容については事業効果を踏まえて見直す必要がある。 ・各種会議等に積極的に参加し、将来を見据えた農業施策を検討する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・農業振興地域整備促進協議会及び農業経営基盤強化推進協議会を各1回開催した。 ・各種団体の活動に積極的に参加し、地域農業の振興を図った。 ・局所的な災害が増加していることから、各種共済の加入を促進した。
評価等	・水稲作付け面積が減少傾向にある中で、水稲共済引き受け面積も年々減少している。 ・園芸施設共済面積は平成28年度より61棟(3戸)減少したことから、加入促進をしていく必要がある。 ・各種団体の活動目的はそれぞれ異なるものの、活動内容については事業効果を踏まえて見直す必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・局所的な災害が増加していることから、今後も各種共済の加入促進に努める。 ・各団体の活動内容については、事業効果を踏まえて見直す必要がある。 ・各種会議等に積極的に参加し、将来を見据えた農業施策を検討する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	82,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	(d)-(c)
85,010	84,935	84,935	956
30	60	60	△ 16
84,980	84,875	84,875	972
査定額	説明		
77,671			
385	農振地域整備促進協議会23人、経営基盤強化推進会議26人		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・農業振興地域整備計画の見直し(諸情勢の変化に対応)

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

23_農務課.xlsx_3

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_4

事業名	51300 営農推進対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業のひとつである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産事業費		個別分野	5	観光		
					項	1	農業費		施策概要	1	滞在型・通年型の観光地づくり		
					目	3	農業振興費		根拠計画	産業振興計画			
担当課	農政部 農務課		内線	2222									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域の中心となる農業経営体への農用地利用集積を促進し、経営規模の拡大・農業経営の安定を図るとともに、不作付地の解消を行う。 ・生産調整の確実で円滑な実施。 ・高山営農推進協議会が、各集落における現状の把握、問題点の整理、解決方法の検討、各種政策の推進及び研修を行うことで、地域農業の活性化を図る。	概要	・「人・農地プラン」に基づき、地域の中心となる農業経営体への農地集積や集約化を推進する。 ・立地条件に合った水田の有効活用を促進する。 ・農業経営体の育成及び強化を行うため講座や研修会を開催する。 ・農業改良組合や営農推進協議会などの農業者団体との連携強化を図る。
----	---	----	---

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		28,073	27,277	27,104	27,076	22,873
		増減 (b)-(a)				
		△ 4,404				
特定財源	国費 (中山間地域等担い手収益力向上支援事業 10/10)		1,577			
	県費 (経営所得安定化対策事業費等 10/10等)	17,141	16,311	15,200	15,200	12,512
	その他(受託事業収入)	100		100	100	23
一般財源		10,832	9,389	11,804	11,776	10,338
個票枝番		主な事業内容				
		水稲病害虫共同防除に対する助成	2,300	1,672	2,000	2,000
		農地集積協力者に対する助成	7,196	8,221	7,000	7,000
		経営所得安定対策の推進活動に対する助成	6,200	5,825	6,200	5,923
◎	1	飛騨の美味しいお米食味コンクール実行委員会負担金	100	100	1,040	1,040
◎	2	環境王国認定市町村連絡協議会負担金			314	314
		地域農業組織の基盤強化に対する助成	5,000	5,000	5,000	5,000
		GAP(農業生産工程管理)認証取得に対する助成				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・水稲損害防止のための共同防除を実施した団体への助成(12団体、1,073.3ヘクタール) ・農地集積協力者への助成(37件、12.9ヘクタール) ・施設園芸就農希望者への農地貸付者に対する助成(10件、4.2ヘクタール) ・園床ブロックを共同購入した実施団体への補助金(4団体、325,585ブロック) ・米の生産数量目標達成のための助成(1団体) ・米コンひだ(表彰式・講演会・米の試食会)の開催
評価等	・農業の担い手(認定農業者)の農地利用集積を促進し、経営規模の拡大を図った。 ・米の生産数量目標達成のため、経営所得安定対策事業の活用により飼料用米等の新規需要米への作付け転換を推進し、水田の有効活用を図った。 ・水稲病害虫共同防除事業補助金により、水稲損害防止のための共同防除を促進し、稲作経営の安定化を図った。 ・園床しいたけ産地の低コスト生産体制の整備及び県産材の利用拡大を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	・農業の担い手(認定農業者)への農地利用集積を促進する。 ・「人・農地プラン」の作成・見直しを通じ、地域の農業者とともに話し合いをすすめる。 ・経営所得安定対策事業補助金や水稲病害虫共同防除事業補助金の活用により、水田の適地適品種の作付けや稲作の安定経営を図る。 ・高山市営農推進協議会活動の支援により、各地域における課題解決を推進する。

- ☒維持・改善
- ☐拡大
- ☐縮小
- ☐廃止検討
- ☐H28完了
- ☐H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・水稲損害防止のための共同防除を実施した団体への助成(12団体、1,070.1ヘクタール) ・農地集積協力者への助成(18件、8.6ヘクタール) ・施設園芸就農希望者への農地貸付者に対する助成(6件、1.7ヘクタール) ・園床ブロックを共同購入した実施団体への補助金(4団体、473,549ブロック) ・米の生産数量目標達成のための助成(1団体) ・米コンひだ(表彰式・講演会・米の試食会)の開催 ・米食味分析鑑定コンクール国際大会 山形大会での次期開催PR
評価等	・農業の担い手(認定農業者)の農地利用集積を促進し、経営規模の拡大を図った。 ・米の生産数量目標達成のため、経営所得安定対策事業の活用により飼料用米等の新規需要米への作付け転換を推進し、水田の有効活用を図った。 ・水稲病害虫共同防除事業補助金により、水稲損害防止のための共同防除を促進し、稲作経営の安定化を図った。 ・園床しいたけ産地の低コスト生産体制の整備及び県産材の利用拡大を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	・農業の担い手(認定農業者)への農地利用集積を促進する。 ・「人・農地プラン」の作成・見直しを通じ、地域の農業者とともに話し合いをすすめる。 ・経営所得安定対策事業補助金や水稲病害虫共同防除事業補助金の活用により、水田の適地適品種の作付けや稲作の安定経営を図る。 ・高山市営農推進協議会活動の支援により、各地域における課題解決を推進する。

- ☒維持・改善
- ☐拡大
- ☐縮小
- ☐廃止検討
- ☐H29完了
- ☐H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	24,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	(d)-(c)
30,183	31,498	31,498	4,394
16,505	15,200	15,200	0
100	2,600	2,600	2,500
13,578	13,698	13,698	1,894
査定額	説明		
2,000	水稲病害虫共同防除事業補助金		
7,000	農地集積事業補助金、就農支援農地確保事業補助金		
6,200	経営所得安定対策事業補助金		
3,334	米・食味分析鑑定コンクール国際大会の開催		
114			
5,000	地域農業組織強化支援事業補助金		
2,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・付加価値の高い農産物づくりの推進
担当課 予算要求 ポイント	・営農推進協議会の活動支援に係る経費を計上 ・経営所得安定対策事業及び農地集積事業の推進に係る経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

23_農務課.xlsx_4

事業名	51300 営農推進対策事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課
			☒ H29拡充	☐ H30拡充		款	5	農林水産事業費		
			☐ その他重要事業			項	1	農業費		
			☐			目	3	農業振興費		
枝番・内容	1 飛驒の美味しいお米食味コンクール実行委員会負担金								内線	2222
									作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛驒米の食味値向上と飛驒コシヒカリのブランド化	概要	・米コンひだ(表彰・講演会・米の試食会)の開催 ・米食味分析鑑定コンクールでのPR
----	--------------------------	----	--

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	100
	繰越	
	補正等	
	最終	100
決算額		100
対前年度増減額(決算)		100

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	1,040
主な経費	・米コンひだ開催に対する負担金	
対前年度増減額(当初予算)		940

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	1,040
	繰越	
	補正等	
	最終	1,040
決算額		1,040
対前年度増減額(決算)		940

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	3,334
主な経費	・飛驒の美味しいお米食味コンクール実行委員会負担金	
対前年度増減額(当初予算)		2,294

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績] ・米コンひだ(表彰式・講演会・米の試食会)の開催		
[評価] ・飛驒米のブランド化へ向けた食味値向上及び米農家の生産意欲の向上に資することができた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・飛驒米の食味値向上及びブランド化を図るため実施する。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・米コンひだ(表彰式・講演会・米の試食会)の開催 ・米食味分析鑑定コンクールでのPR (3市1村とJAで按分して負担)	
[スケジュール] ・平成29年10月25日 米コンひだ開催 ・平成29年11月25・26日 米・食味分析鑑定コンクール国際大会(山形)	

事業実績、評価等		
[事業実績] ・米コンひだ(表彰式・講演会・米の試食会)の開催 ・米食味分析鑑定コンクール国際大会 山形大会での次期開催PR		
[評価] ・飛驒米のブランド化へ向けた食味値向上及び米農家の生産意欲の向上に資することができた。 ・米食味分析鑑定コンクール次期開催地としての高山市をPRすることができた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・飛驒米の食味値向上及びブランド化を図るため実施する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・飛驒の美味しいお米食味コンクール実行委員会への負担金	
[スケジュール] ・飛驒の美味しいお米食味コンクール 平成30年10月26日 ・米・食味分析鑑定コンクール国際大会 平成30年11月26・27日	

主要事業個票（平成29年度決算）

23_農務課.xlsx_6

事業名	51300 営農推進対策事業費	区分	☒ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	5	農林水産事業費		
			☐ その他重要事業			項	1	農業費		
			☐			目	3	農業振興費		
枝番・内容	2 環境王国認定市町村連絡協議会負担金								内線	2222
									作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・優れた自然環境と農業のバランスが保たれ、農産物の生産に適した地域づくりを推進する。	概要	・環境と安全、健康を起点とした農業ビジネスモデルを構築するため環境王国認定市町村のみ出展可能な展示会に参加し、高山市農業の特徴や特産品をPRする。
----	--	----	---

【参考】H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	314
主な経費	・環境王国サイト維持費、イベント出展費用	
対前年度増減額(当初予算)		314

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	314
	繰越	
	補正等	
	最終	314
決算額		244
対前年度増減額(決算)		244

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	114
主な経費	・環境王国サイト維持費、イベント出展費用	
対前年度増減額(当初予算)		△ 200

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 平成30年度に高山市で開催される「第20回米・食味分析鑑定コンクール国際大会飛騨大会」を契機に、環境王国の認定を目指し、自然環境と農業の調和がとれた地域づくりを推進する。	
[スケジュール] ・平成29年9月 認定	

事業実績、評価等		
[事業実績] ・平成29年9月に環境王国としての認定を受けた。		
[評価] ・環境王国として認定されたことで農業と環境のバランスの取れた地域であることをPRできた。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・農業と環境のバランスの取れた地域であることを引き続き情報発信する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・環境王国認定市町村のみ出展可能な展示会への参加やホームページ等を活用し、高山市農業の特徴や特産品をPRする。	
[スケジュール] 平成30年4月11日～13日 ファベックス2018出展(東京都)	

23_農務課.xlsx_6

51300-2

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_7

事業名	51305 農業体験施設等管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業のひとつである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産事業費		個別分野	1	観光		
					項	1	農業費		施策概要	2	滞在型・通年型の観光地づくり		
					目	3	農業振興費		根拠計画	産業振興計画			
担当課	農政部 農務課		内線	2222									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市と農村との交流増加による地域の活性化 ・農業体験、自然体験を通じた子供たちの健全育成 ・生産、収穫などの農業体験を通じて、家族とのふれあいや地域の農業、農作物に対する理解を深める。 ・生きがいをもち、健康でゆとりのある生活の実現を図る。	概要	・施設を活用し、農業体験、自然体験の場を提供する(巣野俣野外研修施設、すのまたふるさと学校体験学習施設、彦谷の里滞在型農園施設、清見里人学校、おっぱら自然体験センター、荒城農業体験交流館) ・市民ふれあいファミリー農園を提供する(塩屋、下切)
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
新規就農者数	28人	33人	30人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		29,540	29,178	26,600	26,900	26,600
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(指定管理事業雑入(農業施設)等)	2,259	1,516	2,259	2,259	1,886
一般財源		27,281	27,662	24,341	24,641	24,714
個票枝番 主な事業内容						
	荒城農業体験交流館ほか5施設の管理運営(指定管理)	24,500	24,292	24,600	24,600	24,315
	施設修繕工事			250	550	614

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	28,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	(d)-(c)
40,250	29,600	29,600	3,000
2,255	2,259	2,259	0
37,995	27,341	27,341	3,000
査定額	説明		
24,600	指定管理委託料		
3,000	施設修繕		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・6施設の利用者数(指定管理事業のみ) 9,202 人 ・荒城農業小学校参加児童数 73人 ・市民農園利用区画数 塩屋農園 48区画、下切農園 40区画
評価等	・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化を図った。 ・現地に赴き、利用者の直の声を伺い、利用者が快適に利用できるよう、適正管理に努めた。 ・広報たかやまやヒットFM、ホームページなどの媒介により利用者を広く募集する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化をめざす。 ・地元団体への譲渡について、補助金適正化法による制限などを調査し、検討する。 ・利用者が快適に利用できるよう、引き続き適正管理に努める。 ・広報たかやまやヒットFM、ホームページなどの媒体により利用者を広く募集する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了 予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・6施設の利用者数(指定管理事業のみ)6,442人 ・荒城農業小学校参加児童数 80人 ・市民農園利用区画数 塩屋農園 50区画、下切農園 38区画
評価等	・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化を図った。 ・現地に赴き、利用者の直の声を伺い、利用者が快適に利用できるよう、適正管理に努めた。 ・広報たかやまやヒットFM、ホームページなどの媒介により利用者を広く募集する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化をめざす。 ・地元団体への譲渡について、補助金適正化法による制限などを調査し、検討する。 ・利用者が快適に利用できるよう、引き続き適正管理に努める。 ・広報たかやまやヒットFM、ホームページなどの媒体により利用者を広く募集する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了 予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・施設の適正な管理に係る経費を計上

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

23_農務課.xlsx_7

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_8

事業名	51310 農作物獣害防止対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
					項	1	農業費		施策概要	4	農山村集落機能の維持・強化		
					目	3	農業振興費		根拠計画	鳥獣被害防止計画、産業振興計画			
					担当課	農政部 農務課	内線		2223				

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	鳥獣被害に強い地域づくり、安定した農業経営及び農作物の生産を図ることにより、農業生産意欲の向上と耕作放棄地の発生を抑制する。	概要	・地域ぐるみによる鳥獣被害防止対策の推進(研修会の開催促進、鳥獣侵入防止柵等の設置支援) ・猟友会を中心に任命された鳥獣被害対策実施隊による安全かつ適正な有害鳥獣の捕獲 ・農家等の狩猟免許取得を促進し、捕獲技術者の確保・育成を図る。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
鳥獣による農作物被害面積(年間)	27ha	25ha	50ha

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		156,660	87,674	139,320	139,313	73,485
特定財源	国費()					
	県費(鳥獣被害防止対策事業費10/10等)	68,278	47,194	57,402	57,402	37,867
	その他()					
一般財源		88,382	40,480	81,918	81,911	35,618
個票枝番	主な事業内容					
	鳥獣被害防止柵設置に対する助成(市単独)	40,000	14,445	30,000	30,000	4,979
	鳥獣被害防止柵設置に対する助成(国県補助)	50,000	39,481	40,000	40,000	30,250
	有害鳥獣の捕獲、捕獲技術者の育成	48,000	23,212	51,000	51,000	26,679
◎ 1	鳥獣被害対策実施隊	6,400	6,025	6,400	6,400	6,149
	ニホンジカの個体数調整捕獲	9,000	2,410	9,000	9,000	2,685
	鳥獣被害防止対策協議会に対する助成	3,000	1,973	2,300	2,300	2,293

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・侵入防止柵の設置支援:実施箇所数:36箇所、受益面積:257.5ha ・有害鳥獣捕獲隊員数 315名(免許所持者:178名、補助者:137名) ・捕獲技術者育成 17名 ・捕獲数量(有害) イノシシ:648頭、サル:114頭、ニホンジカ:230頭、クマ:21頭、カラス:17羽 ・狩猟捕獲特別報奨 イノシシ:96頭、ニホンジカ個体数調整捕獲 209頭
評価等	・鳥獣被害対策実施隊への民間隊員の加入について、次年度からの導入に目処がついた。 ・地域ぐるみでの取り組みを推進する上で、地域ぐるみの捕獲体制作りを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・捕獲を含む地域ぐるみの鳥獣被害防止対策や、鳥獣の個体数管理等を総合的に行い、被害軽減を推進する。 ・射撃場整備の促進

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・侵入防止柵の設置支援:実施箇所数:29箇所、受益面積:132.9ha ・鳥獣被害対策実施隊員数 318名(免許所持者:185名、補助者:133名) ・捕獲技術者育成(延べ人数) 18名 ・捕獲数量(有害) イノシシ:656頭、サル:93頭、ニホンジカ:307頭、クマ:88頭、カラス:19羽 ・狩猟捕獲特別報奨 イノシシ:154頭、ニホンジカ個体数調整捕獲 179頭
評価等	・鳥獣被害対策実施隊への民間隊員の加入により、捕獲従事者の待遇改善が図られた。 ・地域ぐるみでの取り組みを推進する上で、地域ぐるみの捕獲体制作りを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・捕獲を含む地域ぐるみの鳥獣被害防止対策や、鳥獣の個体数管理等を総合的に行い、被害軽減を図る。 ・射撃場整備の適正な実施

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	152,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	(d)-(c)
107,502	106,320	106,320	△ 33,000
33,566	32,578	32,578	△ 24,824
73,936	73,742	73,742	△ 8,176
査定額	説明		
20,000			
20,000			
51,000			
6,700	非常勤公務員報酬(H29から)		
4,500	ニホンジカ個体数調整参加報酬廃止、H29実績による計画頭数の減		
3,400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・獣害対策の推進
担当課 予算要求 ポイント	・地域・集落ぐるみの取組の推進に係る経費を計上 ・有害鳥獣捕獲の体制強化に係る経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

23_農務課.xlsx_8

51310

主要事業個票(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_9

事業名	51310	農作物獣害防止対策事業費	区分	☒ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課
				☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	5	農林水産業費		
枝番・内容	1	鳥獣被害対策実施隊		☐ その他重要事業			項	1	農業費	内線	2223
				☐			目	3	農業振興費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・有害鳥獣の捕獲の担い手の確保と捕獲の強化を図る。	概要	・実施隊に民間隊員(対象鳥獣捕獲員)を追加し、民間隊員を非常勤公務員とする。 従来:捕獲隊との業務委託契約 見直し後:市が隊員を任命、報酬を支給、公務災害補償等の適用
----	---------------------------	----	---

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	6,400
	繰越	
	補正等	
	最終	6,400
決算額		6,025
対前年度増減額(決算)		250

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	6,400
主な経費	・実施隊員報酬	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	6,400
	繰越	
	補正等	
	最終	6,400
決算額		6,149
対前年度増減額(決算)		124

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	6,700
主な経費	・実施隊員報酬	
対前年度増減額(当初予算)		300

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績] ・委託料 11隊 【評価】 ・捕獲業務が委託契約であったことから、事故等の責任の所在が曖昧であった。		
次年度以降の考え方(担当課)	・H29より民間隊員を非常勤職員化	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・年報酬 狩猟免許所持者 30,000円 補助者 5,000円	
[スケジュール] ・4月 任命 ・4～3月 捕獲活動に従事	

事業実績、評価等		
[事業実績] ・隊員数 狩猟免許所持者 185人 補助者 133人 【評価】 ・非常勤公務員化したことにより、隊員の身分保障を強化した。		
次年度以降の考え方(担当課)	・H30以降も継続して実施	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・隊員数 狩猟免許所持者 200人 補助者 140人	
[スケジュール] ・4月 任命 ・4～3月 捕獲活動に従事	

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_10

事業名	51311 射撃場整備費助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	1	農業費		施策概要	4	農山村集落機能の維持・強化		
			目	3	農業振興費		根拠計画	鳥獣被害防止計画、産業振興計画			
担当課	農政部 農務課	内線	2223								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・(一社)飛騨猟友会が実施する射撃場整備を支援することにより、捕獲技術者の育成・確保及び技能向上を図り、鳥獣による農林水産業被害等の軽減を図る。	概要	・(一社)飛騨猟友会が整備する射撃場に対する助成 高山市久々野町辻地内他
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
鳥獣による農作物被害面積	27ha	25ha	50ha

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

[illegible]

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・高山市久々野町辻地内他 - クレー射撃場 2面 - ライフル射撃場 1面 - 事務・教習棟 1棟 - 射撃機械等 1式 - 付帯工事 1式
評価等	・当初、平成29年度内の完成を予定していたが、岐阜県自然環境保全条例に基づく自然環境保全調査の実施により着手日が遅れたため、土工事の一部実施に留まり、大部分の事業を平成30年度に繰り越した。
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☒ H30完了予定 ・引き続き、県等と連携し、早期完成に向け飛騨猟友会を支援する。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

[illegible]

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の 実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_11

事業名	51315 農業制度資金等利子補給事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
					項	1	農業費		施策概要	5	担い手の育成・確保		
					目	3	農業振興費		根拠計画	産業振興計画			
担当課	農政部 農務課		内線	2224									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業を行うために必要な資金を利用しやすくすることで、農業経営の改善を図る。	概要	・農業経営基盤強化資金などの借入資金にかかる利子を補給(助成)する。
----	--	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	239.7億円	231.5億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		2,451	2,449	1,372	1,372	1,366
特定財源	国費()					
	県費(農業経営基盤強化資金利子補給金 1/2)	1,202	1,202	667	667	664
	その他()					
一般財源		1,249	1,247	705	705	702
個票枝番	主な事業内容					
	農業経営基盤強化資金利子補給金	2,405	2,403	1,334	1,334	1,329

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・利子補給件数 110件 ・新規借入申込件数 16件
評価等	・緊急景気対策としての利子補給は、景気の動向等を踏まえて事業の必要性について検討する。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・農業を行うため必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・利子補給件数 51件 ・新規借入申込件数 16件
評価等	・緊急景気対策としての利子補給は、景気の動向等を踏まえて事業の必要性について検討する。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・農業を行うため必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	(d)-(c)
1,055	1,055	1,055	△ 317
524	525	525	△ 142
531	530	530	△ 175
査定額	説明		
1,050			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・農業経営基盤強化資金の利子補給に係る経費を計上

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_12

事業名	51320 新規就農者等育成支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
					項	1	農業費		施策概要	5	担い手の育成・確保		
					目	3	農業振興費		根拠計画	産業振興計画			
担当課	農政部 農務課		内線	2224									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・次代を担う新規就農者及び農業後継者等の育成・定着を図り、地域農業を持続的に発展させる。	概要	・就農希望者を対象とした実践的な就農研修支援事業の実施 ・新規就農者等の農地賃借料に対する助成 ・農業後継者団体等に対する助成及び農業後継者における海外研修に係る経費に対する助成 ・認定新規就農者等の経営を安定させるために給付金等を給付
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
新規就農者数	28人	33人	30人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		71,852	60,349	78,350	78,370	66,515
特定財源	国費 ()					
	県費 (青年就農者支援事業費10/10・就農研修支援事業費10/10等)	56,557	52,286	63,300	63,300	63,059
	その他(夢・まちづくり基金収入等)	1,003	384	2,803	2,803	995
一般財源		14,292	7,679	12,247	12,267	2,461
個票枝番	主な事業内容					
	新規就農者の経営規模拡大に対する助成	800	558	1,200	1,200	858
	就農体感ツアー、就農移住相談会ほか	695	602	680	700	598
	就農希望者に対する実践的な農業研修の支援	5,100	4,150	5,100	5,100	3,600
	45歳未満の独立・自営就農者に対する助成	51,757	41,911	58,500	58,500	48,239
	農業後継者に対する助成(農業後継者の経営参画等に対する助成)	12,000	12,000	10,000	10,000	12,000
	農業後継者に対する助成(農業団体への活動に対する助成)	1,900	1,129	1,270	1,270	1,220

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・就農希望者の実践的就農研修の受入 10名 ・4Hクラブ、JAひだ青年部、指導農業士会等の活動に対する助成 5団体 ・農業後継者就農給付金等による後継者就農等への支援 12名 ・新規就農者等への農地賃借料に対する助成 13名 ・青年就農給付金の給付等による新規就農者等への支援 28件 ・新規就農相談件数 109件
評価等	・就農希望者等が安心して農業に取り組めるよう継続的な支援やフォローアップ及び支援情報等の積極的な発信により、新規就農者等の確保及び農業への定着を図っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・青年就農給付金等の支援事業を積極的に活用し、新規就農者のフォローアップを図ることにより農業への定着に導く。 ・各種就農相談会等を活用し、高山市の支援情報を積極的に発信する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・就農希望者の実践的就農研修の受入 9名 ・4Hクラブ、JAひだ青年部、指導農業士会等の活動に対する助成 5団体 ・農業後継者就農給付金等による後継者就農等への支援 12名 ・新規就農者等への農地賃借料に対する助成 20名 ・農業次世代人材投資資金の交付等による新規就農者等への支援 34件 ・新規就農相談件数 71件
評価等	・就農希望者等が安心して農業に取り組めるよう継続的な支援やフォローアップ及び支援情報等の積極的な発信により、新規就農者等の確保及び農業への定着を図っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・農業次世代人材投資資金等の支援事業を積極的に活用し、新規就農者のフォローアップを図ることにより農業への定着に導く。 ・各種就農相談会等を活用し、高山市の支援情報を積極的に発信する。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	71,000
要求額	財務部査定額	市長査定額 (d)	(d)-(c)
69,100	65,910	65,910	△ 12,440
53,825	50,900	50,900	△ 12,400
597	3,647	3,647	844
14,678	11,363	11,363	△ 884
査定額	説明		
1,100	新規就農者規模拡大事業		
740			
4,700	研修生を受け入れた農家への謝礼		
46,500			
10,000			
1,270			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・新規就農者等がより安定的な経営体へと発展し、農業への定着を図るために必要な経費を計上 ・地域農業の活性化を図るために必要な農業後継者団体等の活動及び研修に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

23_農務課.xlsx_12

51320

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_13

事業名	51325 地域特産物振興助成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します。
					款	5	農林水産費		個別分野	5	農業		
					項	1	農業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり		
					目	3	農業振興費		根拠計画	産業振興計画			
担当課	農政部 農務課		内線	2225									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域の特色ある産地産品づくりを推進するため、特色ある農産物の掘り起しを行い、それらの生産者組織を支援することにより、地域特産物の生産拡大、高品質化、新商品開発等を促進し、地域の活性化を図る。	概要	・各段階に応じた下記の取組みに要する経費に対し補助金を交付 【ステップ1 発掘】 地域の特色を活かして取り組もうとする新たな農産物の選定、栽培技術の確立及び生産販売体系の構築等 【ステップ2 育成】 地域の特色を活かした農産物の生産拡大や高品質化 【ステップ3 振興】 地域の特色を活かした農産物を利用した新商品開発や販売促進活動
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	239.7億円	231.5億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		3,000	407	3,000	3,000	863
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		3,000	407	3,000	3,000	863
個票枝番	主な事業内容					
	地域特産物発掘(新たな農産物の選定、栽培技術・販売体系の確立への助成)	1,000		1,000	1,000	
	地域特産物育成(生産拡大や高品質化への助成)	1,000	61	1,000	1,000	347
	地域特産物振興(新商品開発や販売促進活動への助成)	1,000	346	1,000	1,000	516

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・ステップ3 飛騨高山おいしいお米プロジェクト(米、4年目) ・ステップ2 吉城蔬菜出荷組合春菊部会(春菊、2年目) ・ステップ2 飛騨高山宮川朝市協同組合(山菜、1年目)
評価等	・JAや各研究会と協力して実施するとともに、生産量・販売量・加工研究等の検証を行い、事業の効果をあげるように取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・事業効果の検証を行うとともに、安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりにつなげていく。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・ステップ3 飛騨高山おいしいお米プロジェクト(米、5年目) ・ステップ3 吉城蔬菜出荷組合春菊部会(春菊、3年目) ・ステップ3 タカネコーン生産組合(トウモロコシ、1年目) ・ステップ2 高山市有機農業推進協議会(伝統野菜、1年目)
評価等	・JAや各研究会と協力して実施するとともに、生産量・販売量・加工研究等の検証を行い、事業の効果をあげるように取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・事業効果の検証を行うとともに、安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりにつなげていく。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額 (d)	(d)-(c)
3,000	3,000	3,000	0
3,000	3,000	3,000	0
査定額	説明		
1,000			
1,000			
1,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・地域の特色ある産地産品づくりの推進に係る経費の計上

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

23_農務課.xlsx_13

51325

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_14

事業名	51330 6次産業化支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
					項	1	農業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり		
					目	3	農業振興費		根拠計画	産業振興計画			
担当課	農政部 農務課		内線	2225									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業者による6次産業化を支援することで付加価値の高い産地産品づくりを促進し、農産物のブランド化、農業者の持続的かつ健全な発展及び地域の活性化を図る。	概要	・農業者が新たな加工・流通・販売に取組む場合に必要施設、機械、機具類の整備費等に対して助成する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	239.7億円	231.5億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		4,000	963	4,000	4,000	1,332
特定財源	国費()					
	県費(農業6次産業化促進支援事業費 10/10)	4,000	963	4,000	4,000	1,332
	その他()					
一般財源		0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容					
	6次産業化(生産・加工・販売)に対する助成	4,000	963	4,000	4,000	1,332

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・事業者に対し補助金を交付(2件) ・6次産業化法に基づく事業計画認定者総数 19団体	
評価等	・国、県と連携し新たな6次産業化への取組みについて支援した。 ・継続した販路開拓や品質等改善の支援が必要	
次年度以降の考え方(担当課)	・事業効果の検証を実施するとともに、引き続き推進していく。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・事業者に対し補助金を交付(2件) ・6次産業化法に基づく事業計画認定者総数 20団体	
評価等	・6次産業化の取り組みを支援することで農業者の持続的かつ健全な発展が図られた。 ・継続した販路開拓や品質等改善の支援が必要	
次年度以降の考え方(担当課)	・事業効果の検証を実施するとともに、引き続き推進していく。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	12,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	(d)-(c)
4,000	4,000	4,000	0
4,000	4,000	4,000	0
0	0	0	0
査定額	説明		
4,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・付加価値の高い産地産品づくりのための6次産業化の取組支援に係る経費を計上

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_15

事業名	51335 農業施設等整備費助成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
					項	1	農業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり		
					目	3	農業振興費		根拠計画	産業振興計画			
					担当課	農政部 農務課	内線		2224				

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・化学合成農薬や化学肥料の使用削減を図るぎふクリーン農業を基本に、品質向上や生産性の向上、環境保全効果の高い営農方法の導入等により、消費者に信頼される安全・安心で競争力のある売れる農産物づくりを推進する。 ・新規就農者や意欲ある経営体等の育成・確保を図り、地域農業の持続的な発展に寄与する。	概要	・安全・安心・健康でブランド力のある売れる農産物づくりを推進するため必要となる機械・施設等の導入経費に対して助成 ・意欲ある多様な経営体が自ら計画する経営改善目標の達成に向け必要な農業用機械、施設等に直接支援することにより、農業経営体の経営の拡大や改善を図る。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	239.7億円	231.5億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		58,100	49,788	83,200	87,800	62,856
特定財源	国費 ()					
	県費 (農業総合整備事業費1/4、経営体育成支援事業費3/10 等)	38,100	34,189	60,200	62,500	39,603
	その他 ()					
一般財源		20,000	15,599	23,000	25,300	23,253
個票枝番	主な事業内容					
	農業用機械・施設の導入に対する助成	50,000	38,788	58,000	58,000	49,818
	融資を活用した農業用機械の導入に対する助成	8,100	11,000	25,200	25,200	6,911
	農業用施設災害における生産施設の復旧に対する助成			0	4,600	5,547
	園芸特産品の販路拡大設備の導入に対する助成			0	0	580

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・農業総合整備事業(雨よけハウス、予冷库、包装機、高所作業車、マニースプレッダ等) 延べ8団体 ・担い手確保・経営強化支援事業(コンパイン) 2経営体
評価等	・事業の早期着工について、引き続き事業実施主体、県等と連携し速やかな事業実施を推進していく必要がある。 ・成果目標と事業費比率のポイント制で採択されるため、事業採択のためには高い成果目標の設定と事業費の低減が必要であることを農業者に理解を求める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・事業の採択要件の緩和について、引き続き県へ要望していく。 ・事業実施主体や県等と連携し、速やかな事業の実施を推進していく。 ・市のホームページ等で事業内容のPRや要望量を把握し、新規就農支援者相談や各種会議・会合等で事業推進に努める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・農業総合整備事業(製函機、雨よけハウス、予冷库、暖房機、高所作業車、トラクター等) 延べ11団体 ・経営体育成支援事業(ロールベアラ、ライスセクター、大根収穫機、予冷库) 4経営体 ・農業用施設等災害対策事業(雨よけハウス復旧:H29.1雪害、H29.9台風被害) 延べ3団体 ・園芸特産物産地活性化事業(輸送コンテナ、予冷库) 1団体
評価等	・事業の早期着工について、引き続き事業実施主体、県等と連携し速やかな事業実施を推進していく必要がある。 ・成果目標と事業費比率のポイント制で採択されるため、事業採択のためには高い成果目標の設定と事業費の低減が必要であることを農業者に理解を求める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・事業の採択要件の緩和について、引き続き県へ要望していく。 ・事業実施主体や県等と連携し、速やかな事業の実施を推進していく。 ・市のホームページ等で事業内容のPRや要望量を把握し、新規就農支援者相談や各種会議・会合等で事業推進に努める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	56,000
要求額	財務部査定額	市長査定額 (d)	(d)-(c)
84,835	84,500	84,500	1,300
53,874	52,740	52,740	△ 7,460
30,961	31,760	31,760	8,760
査定額	説明		
78,000			
5,100			
1,400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・ぎふクリーン農業を基本とした機械・施設等の導入支援に係る経費を計上

財務部 査定の 考え方	・精算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

23_農務課.xlsx_15

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_16

事業名	51340 地産地消推進事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	基本分野	1 産業・労働	市長公約	・地産地消が体験できる拠点空間(施設)の整備に努めます。
			款	5 農林水産業費		個別分野	5 農業		
			項	1 農業費		施策概要	3 販路の拡大と流通の効率化		
			目	3 農業振興費		根拠計画	産業振興計画		
担当課	農政部 農務課	内線	2225						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域で生産されたものを地域で消費する。 ・生産者の顔がみえ、新鮮で安全安心な農畜産物が供給される。 ・地域の農業と関連産業の活性化を図る。	概要	・地産地消に取り組む事業者の情報発信や消費者と生産者の連携を強化し、地産地消を推進する。 ・市内の小中学校等大量調理施設において、地域農産物の利用促進を行う。
----	--	----	--

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		3,000	2,103	11,400	11,115	9,619
特定財源	国費 ()					
	県費 (学校給食地産地消事業費 1/3)	1,000	807	1,000	1,000	2,939
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)			2,600	2,600	2,600
一般財源		2,000	1,296	7,800	7,515	4,080
個票枝番	主な事業内容					
	生産者と食品関連事業者とのマッチングイベント等	1,000	489	1,000	1,015	468
	学校給食での県内産米、小麦粉、野菜等の利用促進	2,000	1,614	4,425	4,400	3,390
◎ 1	「まるごと飛騨の日」の開催(学校給食での地元食材を使った特別献立の提供)			6,000	5,700	5,760

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・地産地消推進会議を4回開催し、推進事業等について協議 ・各種事業の実施(料理教室の開催(3回)、飛騨をまるごと食べんかな月間における啓発事業の実施、手作り弁当の募集、見本市の開催(1回)、フェイスブック・ヒットネットTV等での情報発信) ・学校給食地産地消推進事業補助金を活用した、小中学校の学校給食における地元産・県産農産物の積極的な活用の推進 ・学校給食における県内産農産物の利用量 139トン ・学校給食使用食材に占める飛騨産食材の比率 64% ・公設地方卸売市場の取扱量に占める飛騨産食材の比率 11.6% ・地産地消の取組を発信する店舗・団体数 255件	
評価等	・事業実施により、農業者・商工業者・消費者等がコミュニケーションを図ることで、地域産業の活性化につながっている。 ・地域農産物等の認知度向上及び利用促進に向けた取組を、地産地消推進会議と連携し、更に強化する必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・地域特産物の利用拡大を推進していく中で、地域の農業と関連産業を結び付ける事業を展開する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・地産地消推進会議を4回開催し、推進事業等について協議 ・各種事業の実施(料理教室の開催(2回)、飛騨をまるごと食べんかな月間における啓発事業の実施、手作り弁当の募集、見本市の参加(1回)、フェイスブック・ヒットネットTV等での情報発信) ・学校給食地産地消推進事業補助金を活用した、小中学校の学校給食における地元産・県産農産物の積極的な活用の推進 ・学校給食における県内産農産物の利用量 144トン ・学校給食使用食材に占める飛騨産食材の比率 68.8% ・公設地方卸売市場の取扱量に占める飛騨産食材の比率 12.6% ・地産地消の取組を発信する店舗・団体数 252件	
評価等	・事業実施により、農業者・商工業者・消費者等がコミュニケーションを図ることで、地域産業の活性化につながっている。 ・地域農産物等の認知度向上及び利用促進に向けた取組を、地産地消推進会議と連携し、更に強化する必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・地域特産物の利用拡大を推進していく中で、地域の農業と関連産業を結び付ける事業を展開する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	239.7億円	231.5億円	205億円

4.平成30年度予算編成(Action)

H30		実施計画額	3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	(d)-(c)
10,780	11,780	11,780	380
1,000	1,000	1,000	0
	1,600	1,600	△ 1,000
9,780	9,180	9,180	1,380
査定額	説明		
1,080			
4,700			
6,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・市民参画による地産地消の推進や学校給食における地元農産物の利用促進に係る経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	51340	地産地消推進事業費	区分	☒ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課
				☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	5	農林水産業費		
枝番・内容	1	「まるごと飛驒の日」の開催(学校給食での地元食材を使った特別献立の提供)		☐ その他重要事業	☐		項	1	農業費	内線	2222
				☐			目	3	農業振興費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内全小中学校の学校給食で地元食材を使った特別献立を提供し、飛騨の食文化や優れた地元食材に触れる機会を創出するとともに、地産地消や地域農業への理解を促進する。	概要	・市内全小中学校の学校給食で特別献立年4回実施(8月～11月) ・地域の農業者による食育出前講座の実施
----	--	----	--

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	6,000
主な経費	・学校給食の賄材料のうち、飛騨産食材と他産地産の差額補てん	
対前年度増減額(当初予算)		6,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	6,000
	繰越	
	補正等	△ 300
	最終	5,700
決算額		5,760
対前年度増減額(決算)		5,760

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	6,000
主な経費	・学校給食の賄材料のうち、飛騨産食材と他産地産の差額補てん	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業内容]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
事業内容	- 市内全小中学校の学校給食で地元食材を使用した特別献立を年4回実施(8月～11月) - 地域の農業者による食育出前講座の実施
スケジュール	8月～11月 特別献立を月1回実施 8月 地域の農業者による食育出前講座の実施

事業実績、評価等	
【事業実績】 ・学校給食の特別献立の提供 - 第1回…まるごと飛驒の夏野菜カレー、宿衛かぼちゃチップス、ミディトマト、ひだヨーグルト - 第2回…飛驒盲豚のとまとだれ、桃ゼリー、ひだキャベツの赤かぶ和え、飛驒秋野菜の味噌汁 - 第3回…飛驒牛の根深みそ焼き、あきしまさざげとこも豆腐のごま和え、タカネコーン - 第4回…飛驒牛のすき焼き風、ほうれんそうサラダ、きなこタフィ、飛驒りんご ※各回、牛乳と飛驒こしひかりの麦ごはんを提供 ・食育出前講座の実施 - 第1回提供日に地域の農業者が市内の全小中学校へ出向き、小学校4年生を対象に給食時間中に出前講座を実施 【評価等】 ・「学校給食まるごと飛驒の日」を通して、市内の小中学生が地域農産物に親近感を持つとともに、地域農業に対する理解を促進することができた。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・H30以降も継続して実施 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・市内全小中学校の学校給食で地元食材を使用した特別献立を年4回実施(8月～11月) ・地域の農業者による食育出前講座の実施	
[スケジュール] ・8月～11月 特別献立を月1回実施 ・8月 地域の農業者による食育出前講座の実施	

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_18

事業名	51350 環境保全型農業推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	1	農業費		施策概要	1	活気ある農業生産地づくり		
			目	3	農業振興費		根拠計画		産業振興計画		
担当課	農政部 農務課	内線	2225								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・廃ビニールの適正処理、農業の安全使用の徹底など地域環境の保全を図る。 ・地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い、国が定める特定の営農活動を支援し、環境保全型農業を推進する。	概要	・高山市の農業と環境を守る協議会と、JA等関係団体と協調し、廃ビニールの処理にかかる費用を助成する。 ・国、県と協調し、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う経営体に対して交付金による直接支援を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	239.7億円	231.5億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		2,500	1,704	2,700	2,700	1,654
特定財源	国費 ()					
	県費 (環境保全型農業支援事業費3/4)	1,350	807	1,500	1,500	783
	その他 ()					
一般財源		1,150	897	1,200	1,200	871
個票枝番	主な事業内容					
	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対する助成	1,800	1,091	2,000	2,000	1,072
	使用済農業用資材の適正処理に対する助成	700	613	700	700	582

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	2,200
要求額	財務部査定額	市長査定額 (d)	(d)-(c)
2,065	2,100	2,100	△ 600
1,023	1,050	1,050	△ 450
1,042	1,050	1,050	△ 150
査定額	説明		
1,400			
700			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・関係機関と連携し、農業用廃ビニールの回収と処理にかかる費用を助成した。(フレコンバック613袋) ・国・県と連携し、環境保全型農業に取り組む経営体に対して交付金による直接支援を行った。(交付金面積1,685a)
評価等	・農業団体や関係機関とともに、農業用廃ビニールの適正処理や環境保全型農業への取組を支援したことにより、地球温暖化防止や生物多様性保全を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・環境に配慮した営農活動を推進する。 ・環境保全型農業に取り組む農業者の環境への効果、活動のPRを支援しながら、さらなる推進を図る。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・関係機関と連携し、農業用廃ビニールの回収と処理にかかる費用を助成した。(フレコンバック582袋) ・国・県と連携し、環境保全型農業に取り組む経営体に対して交付金による直接支援を行った。(交付金面積1,653a)
評価等	・農業団体や関係機関とともに、農業用廃ビニールの適正処理や環境保全型農業への取組を支援したことにより、地球温暖化防止や生物多様性保全を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・環境に配慮した営農活動を推進する。 ・環境保全型農業に取り組む農業者の環境への効果、活動のPRを支援しながら、さらなる推進を図る。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・環境保全型の営農活動の促進に係る経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

23_農務課.xlsx_18

51350

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_19

事業名	51355 中山間地域等直接支払事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
					項	1	農業費		施策概要	4	農山村集落機能の維持・強化		
					目	3	農業振興費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課		内線	2229									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・耕作放棄地の増加等により水源かん養機能、洪水防止機能等の多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保する。	概要	・中山間地域等の農業生産条件が不利な地域において、5年以上農業を続けることを約束した農業者等に対して支援する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	239.7億円	231.5億円	205億円
担い手への農地集積率	40.9%	39.9%	50.0%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		175,300	173,364	174,200	174,200	173,399
特定財源	国費()					
	県費(中山間地域等直接支払事業費 2/3、3/4、10/10)	131,100	129,470	130,150	130,150	129,518
	その他()					
一般財源		44,200	43,894	44,050	44,050	43,881
個票枝番 主な事業内容						
	中山間地域等直接支払事業に対する助成	174,600	173,109	174,000	174,000	173,304

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・協定締結集落数 93集落 ・事業参加面積 1,263ha
評価等	・当該事業の採択条件に「5年以上農業を続けること」という条件があるため、農業の継続を検討している農業者が参加しない場合がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・新規に取り組みを希望する集落の掘り起しを行い、耕作放棄地の解消や予防を促進していく。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・協定締結集落数 93集落 ・事業参加面積 1,265ha
評価等	・中山間地域における持続的な農業や集落活動への支援を引き続き実施していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・新規に取り組みを希望する集落の掘り起しを行い、耕作放棄地の解消や予防を促進していく。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	183,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
173,596	173,800	173,800	△ 400
129,688	129,850	129,850	△ 300
43,908	43,950	43,950	△ 100
査定額	説明		
173,600	93集落		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・条件不利地での営農活動の維持、農地の生産基盤の確保に係る経費を計上

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

23_農務課.xlsx_19

51355

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_20

事業名	51360 耕作放棄地対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	1	農業費		施策概要	1	活気のある農業再産地づくり		
			目	3	農業振興費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課	内線	2227								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・耕作放棄地を解消することで、農産物の生産供給のほか、農地による洪水防止など多面的機能を向上させ、農村環境や自然環境を維持する。 ・地域の団体や企業が、耕作放棄地対策に取り組むことで、地域の振興と住民同士の連携体制を強化する。	概要	・耕作放棄地を解消しようとする団体や認定農業者による、農地を再生するための活動に対して支援する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
担い手への農地集積率	40.9%	39.9%	50.0%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		10,000	612	5,000	5,000	107
						増減 (b)-(a)
						△ 505
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		10,000	612	5,000	5,000	107
						△ 505
個票枝番	主な事業内容					
	耕作放棄地再生利用事業に対する助成	10,000	612	5,000	5,000	107
						△ 505

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・奥飛騨温泉郷地域の1団体が0. 3haの再生事業を実施、ソバを作付した。
評価等	・事業費ベースで、H24・25が40%台、H26 12%、H27 30 %となったが、H28は 6 %と低調であることから、農家への制度説明をより進める必要がある。 ・規模縮小希望農家から担い手農家への農地集積を図るため、農地利用最適化の推進に向けた活動を積極的に進める必要がある。 ・耕作放棄地全体調査結果 H20: 174ha、⇒H28: 105haと緩やかに減少している。
次年度以降の考え方(担当課)	・地域農業者と共に農地利用の最適化の推進に向けた活動を行うため、「人・農地プラン」の見直しに向けた話し合いの場へ積極的な参加を促す。 ・新たに設置される農地利用最適化推進委員と農業委員が連携し、担当地域の担い手農家、農業法人、地縁団体へ制度活用に向けた相談活動により、耕作放棄地解消・防止に結び付ける。 ☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☒ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・国府地域の1団体が0. 2haの再生事業を実施、アスパラガスを作付した。
評価等	・事業費ベースで、H26 12%、H27 30 %、H28は 6 %となったが、H29は2%と更に低調であることから、農家の寄り合いや会合等の場を活用し、農家への制度説明を積極的に進める必要がある。 ・規模縮小希望農家から担い手農家への農地集積を図るため、農地利用最適化の推進に向けた活動を積極的に進める必要がある。 ・耕作放棄地全体調査結果 H20: 174ha、⇒H29: 106haと緩やかに減少している。
次年度以降の考え方(担当課)	・地域農業者と共に農地利用の最適化の推進に向けた活動を行うため、「人・農地プラン」の見直しに向けた話し合いの場へ積極的な参加を促す。 ・新たに設置された農地利用最適化推進委員と農業委員が連携し、担当地域の担い手農家、農業法人、地縁団体等へ制度活用に向けた相談活動や現地調査を行い、農地の出し手と受け手との契約に結び付け、耕作放棄地解消・防止を図る。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額 (d)	(d)-(c)
10,000	5,000	5,000	0
10,000	5,000	5,000	0
査定額	説明		
5,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・農山村の維持・向上
担当課 予算要求 ポイント	・荒廃農地を再生・営農開始する団体や企業等への支援に係る経費を計上

財務部 査定の 考え方	・要求内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_21

事業名	54100 農業土木施設整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
					項	4	農業土木費		施策概要	1	活気ある農業生産地づくり		
					目	1	農業土木総務費		根拠計画				
					担当課	農政部 農務課	内線		2229				

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・用排水路等の農業用施設の機能維持、機能回復または機能改良 ・豪雨時においてダムによる洪水調整を行い、下流域における市民の安全を確保し、生活施設、農業生産施設、農作物等の被害を防止する。	概要	・用排水路等の農業用施設の修繕・改修整備、防災ダムの保守点検
----	--	----	--------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	239.7億円	231.5億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		115,712	115,256	39,527	69,527	69,087
特定財源	国費 ()					
	県費 (県移譲事務交付金)	30	30	30	30	0
	その他 (農業用施設改良事業費(市単事業)17.5/100、35/100等)	9,821	7,411	3,903	8,103	6,588
一般財源		105,861	107,815	35,594	61,394	62,469
個票枝番	主な事業内容					
	防災ダムの維持管理	1,015	790	1,015	1,015	810
	農業用施設工事 (用水路等工事 分担金あり)	15,000	36,465	15,000	39,000	37,552
	農業用施設工事 (排水路等工事 分担金なし)	89,000	67,480	15,000	21,000	22,411
	農業用施設修繕用原材料支給	5,000	4,950	5,000	5,000	4,987

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・宮川、久々野防災ダム 施設維持管理(支障木除去、法面草刈り) ・農業用施設工事 (用水路等工事 分担金あり) 39件 ・農業用施設修繕工事 (排水路等工事 分担金なし) 47件 ・広域営農団地農道清掃 ・農業用施設修繕用原材料の支給
評価等	・防災ダムについては適正に施設点検・維持管理を行った。 ・地域からの農業用施設修繕の要望に対し、老朽化した施設の修繕を行い長寿命化を図ることができた。 ・市内の用排水路等の農業用施設は、標準的な耐用年数を経過した施設が多く、農業用施設の修繕等に係るニーズは高くなっているため、町内等と調整が必要
次年度以降の考え方(担当課)	・防災ダムはこれまでどおり施設点検や維持管理を行う。 ・防災ダム施設の適正な状態を保つために、定期的な保守点検・施設修繕・部品交換などを計画的に実施する。 ・農業用施設の維持、長寿命化を図るために、町内会、改良組合、農業用施設管理団体等との更なる調整が必要である。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・宮川、久々野防災ダム 施設維持管理(支障木除去、法面草刈り) ・農業用施設工事 (用水路等工事 分担金あり) 25件 ・農業用施設修繕工事 (排水路等工事 分担金なし) 29件 ・広域営農団地農道清掃 ・農業用施設修繕用原材料の支給
評価等	・防災ダムについては適正に施設点検・維持管理を行った。 ・地域からの農業用施設修繕の要望に対し、老朽化した施設の修繕を行い長寿命化を図ることができた。 ・市内の用排水路等の農業用施設は、標準的な耐用年数を経過した施設が多く、農業用施設の修繕等に係るニーズは高くなっているため、町内等と調整が必要
次年度以降の考え方(担当課)	・防災ダムはこれまでどおり施設点検や維持管理を行う。 ・防災ダム施設の適正な状態を保つために、定期的な保守点検・施設修繕・部品交換などを計画的に実施する。 ・農業用施設の維持、長寿命化を図るために、町内会、改良組合、農業用施設管理団体等との更なる調整が必要である。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	39,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
41,063	40,463	40,463	936
			0
30	30	30	0
3,891	8,590	8,590	4,687
37,142	31,843	31,843	△ 3,751
査定額	説明		
1,215			
15,000			
15,000			
5,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・農地・農業用施設の改修等による施設の機能保全や長寿命化に係る経費を計上 ・施設の適正な維持管理による豪雨災害の防止に係る経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

23_農務課.xlsx_21

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_22

事業名	54120 農村環境多面的機能向上事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	4	農業土木費		施策概要	4	農山村集落機能の維持・強化		
			目	1	農業土木総務費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課	内線	2229								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・脆弱化しつつある地域共同活動を再構築し、農業用施設の保全(長寿命化)をするるとともに、農村環境の保全など、地域農業の発展と農山村地域の活性化を図る。	概要	・各地域の活動組織と市との間で締結した「農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上に対する協定」に基づく取り組みに対し支援する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	239.7億円	231.5億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		246,494	246,493	225,920	225,920	190,543
特定財源	国費()					
	県費(農村環境多面的機能向上事業費 3/4、10/10)	185,595	184,920	169,470	169,470	139,450
	その他()					
一般財源		60,899	61,573	56,450	56,450	51,093
個票枝番	主な事業内容					
	多面的機能支払事業補助金	246,374	246,374	225,800	225,795	190,418

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援 ・71組織 3, 154ha
評価等	・新たな取組活動等の拡大を図るため、地域に対し啓発を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・各地域の農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上を図るために必要な事業であり、引き続き事業を実施していく。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援 ・70組織 2, 779ha
評価等	・組織解散、活動見直しにより面積は減少したが、地域資源の質的向上を図るための共同活動の支援を引き続き実施していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・各地域の農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上を図るために必要な事業であり、引き続き事業を実施していく。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	243,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
222,155	222,120	222,120	△ 3,800
			0
166,650	166,620	166,620	△ 2,850
			0
55,505	55,500	55,500	△ 950
査定額	説明		
222,000	72組織		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・農用地・水路等の保全管理に対する共同活動に必要な経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_23

事業名	54200 県営土地改良事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
					項	4	農業土木費		施策概要	1	活気ある農業生産地づくり		
					目	2	土地改良費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課		内線	2229									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業生産基盤である農地と野菜集出荷施設、カントリーエレベーター等の近代化施設を農道で結び移動時間の短縮を図る。 ・農業基盤である農地農道・用排水路等の整備を行い、農業経営の安定を図る。 ・高山市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、温暖化対策として小水力発電など、地域全体への新エネルギーの積極的な活用を図る。	概要	・県が事業主体となって農地農道・用排水路等の整備を行う。 ・広域農道(岩井町から久々野町長流まで)を新設する。 ・市と地元受益者は、整備にかかる事業費の一部を負担する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	239.7億円	231.5億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		93,640	60,529	120,275	120,275	71,941
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(土地改良事業費5/100、8.75/100、11.25/100等)	18,438	20,167	37,840	37,840	29,130
一般財源		75,202	40,362	82,435	82,435	42,811
個票枝番	主な事業内容					
	広域営農団地農道整備	37,330	22,557	30,225	30,225	8,787
	県営農村環境整備事業 小水力発電型(荘川中央用水)	350	225	17,750	17,750	339
	県営中山間地域総合整備	39,000	20,300	45,000	45,000	38,070
	県営かんがい排水整備	16,960	16,749	27,300	27,300	24,745

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・広域営農団地農道整備事業 道路工、橋梁工 ・県営農村環境整備事業 小水力発電整備型 施設設計業務 ・県営中山間地域総合整備事業 南高山地区 用水路工事、用地補償、農業集落道整備 東高山地区 測量設計業務 防火水槽工事 荘川清見地区 測量設計業務 ・県営かんがい排水整備事業 上野平用水地区 用水路工事、測量設計業務、立木補償、水管橋耐震補強・塗装工事 宮川右岸用水地区 頭首工改修工事 四ヶ村用水地区 測量設計業務	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定
評価等	・事業実施地区における農業施設の長寿命化を図ることができた。 ・今後実施される事業の精査を十分に行う必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・県との調整を密接に行い、事業費の把握に努めると共に市と地元負担額の確保を図る。	

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・広域営農団地農道整備事業 設計委託費、橋梁工事費 ・県営農村環境整備事業 小水力発電整備型 施設設計業務 ・県営中山間地域総合整備事業 東高山地区 用水路工事 荘川清見地区 測量設計業務、用水路工事、排水路工事、圃場整備工事 ・県営かんがい排水整備事業 上野平用水地区 用水路工事 宮川右岸用水地区 測量設計業務 四ヶ村用水地区 水路補修工	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定
評価等	・事業実施地区における農業施設の長寿命化を図ることができた。 ・今後実施される事業の精査を十分に行う必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き県と調整を行い、事業推進を図る。	

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	82,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
127,625	124,475	124,475	4,200
			0
			0
26,821	38,426	38,426	586
100,804	86,049	86,049	3,614
査定額	説明		
30,000	排水工、転落防止工、国道取付工		
14,750	発電施設整備、水圧管路整備(L=139m)		
62,769	東高山地区、西高山地区、北高山地区(H30～)		
16,956	上野平用水地区、桜野・宮川右岸用水地区、四ヶ村用水地区、高原用水地区(H30～)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・県の事業計画に基づく事業費負担に係る経費を計上

財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

23_農務課.xlsx_23

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_24

事業名	54210 土地改良事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
					項	4	農業土木費		施策概要	1	活気ある農業生産地づくり		
					目	2	土地改良費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課		内線	2229									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・土地改良施設の機能保持と長寿命化を図る。 ・小規模農家の多い中で、土地改良事業に伴う負担金を交付することにより、農家の経費軽減を図り、農業経営の安定化を促進する。	概要	・土地改良事業を実施した地区において、その施設の長寿命化等を図る取り組みに対して支援する。 ・土地改良事業に係る自己負担金の補助(高根地域)
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	239.7億円	231.5億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		20,565	20,308	22,329	22,329	21,858
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(土地改良施設維持管理適正化事業雑入、土地改良事業費)	11,588	11,546	13,175	13,175	13,097
一般財源		8,977	8,762	9,154	9,154	8,761
個票枝番		主な事業内容				
		土地改良施設維持管理適正化事業負担金	4,499	4,477	4,791	4,791
◎	1	土地改良施設維持管理適正化工事	12,000	11,766	14,000	13,556
		農業用施設施設整備事業費補助金(債務負担)	4,066	4,065	3,538	3,537

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・松本揚水機場ポンプ整備補修工事 ・丹生川荒神洞揚水機場ポンプ整備補修工事 ・農業用施設整備事業負担金(債務負担)支払 10件 ・農業用施設整備事業補助金(債務負担)支払 (高根地域)
評価等	・修繕した施設の長寿命化を図ることができた。 ・土地改良施設維持管理適正化事業採択拡大のため、県費拡充の働きかけを行うことが必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・適正化事業は県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・大尾根揚水機場ポンプ整備補修工事 ・宮之前揚水機場ポンプ整備補修工事 ・農業用施設整備事業負担金(債務負担)支払 8件 ・農業用施設整備事業補助金(債務負担)支払 (高根地域)
評価等	・修繕した施設の長寿命化を図ることができた。 ・適正化事業は、今後実施する事業の精査を十分に行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・適正化事業は県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	16,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
26,900	26,363	26,363	4,034
			0
			0
19,175	18,675	18,675	5,500
7,725	7,688	7,688	△ 1,466
査定額	説明		
5,658	飛騨東部牧戸揚水機整備事業ほか9件		
19,500	飛騨東部上切揚水機整備ほか2件		
1,205	高根(池ヶ洞土地利用管理組合、泰生土地利用管理組合)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・土地改良施設の機能低下の防止や機能回復に必要な経費を計上

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

23_農務課.xlsx_24

54210

事業名	54210	土地改良事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課
枝番・内容	1	土地改良施設維持管理適正化工事		☒ H29拡充	☐ H30拡充		款	5	農林水産業費		
				☐ その他重要事業			項	4	農業土木費	内線	2229
				☐			目	2	土地改良費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・土地改良施設の機能保持と長寿命化を図る。 ・小規模農家の多い中で、土地改良事業に伴う負担金を交付することにより、農家の経費軽減を図り、農業経営の安定化を促進する。	概要	・土地改良事業を実施した地区において、その施設の長寿命化等を図る取り組みに対して支援
----	---	----	--

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	12,000
	繰越	
	補正等	
	最終	12,000
決算額		11,766
対前年度増減額(決算)		△ 1,734

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	14,000
主な経費	・土地改良施設維持管理適正化工事 14,000	
対前年度増減額(当初予算)		2,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	14,000
	繰越	
	補正等	
	最終	14,000
決算額		13,556
対前年度増減額(決算)		1,790

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	19,500
主な経費	・土地改良施設維持管理適正化工事 19,500	
対前年度増減額(当初予算)		5,500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績] ・松本揚水機場ポンプ整備補修工事 ・丹生川荒神洞揚水機場ポンプ整備補修工事		
[評価] ・修繕した施設の長寿命化を図ることができた。 ・土地改良施設維持管理適正化事業採択拡大のため、県費拡充の働きかけを行う必要がある。		
次年度以降の考え方(担当課)	・適正化事業は県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・大尾根揚水機場ポンプ整備補修工事 ・宮之前揚水機場ポンプ整備補修工事	
[スケジュール] ・H29年5月 地元調整 ・H29年6月～H30年2月 工事実施	

事業実績、評価等		
[事業実績] ・大尾根揚水機場ポンプ整備補修工事 ・宮之前揚水機場ポンプ整備補修工事		
[評価] ・修繕した施設の長寿命化を図ることができた。 ・適正化事業は、今後実施する事業の精査を十分に行う必要がある。		
次年度以降の考え方(担当課)	・適正化事業は県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・飛騨東部団地(上切町)上切A..上切B揚水機改修(2ヶ所) ・飛騨東部団地(久々野町)小屋名揚水機改修	
[スケジュール] ・H30年5月 地元調整 ・H30年6月～H31年2月 工事実施	

事業シート(平成29年度決算)

23_農務課.xlsx_26

事業名	11100 地方卸売市場施設管理費			予算	会計	7	地方卸売市場事業特別会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・地産地消が体験できる拠点空間(施設)の整備に努めます。
					款	1	総務費		個別分野	5	農業		
					項	1	総務管理費		施策概要	3	販路の拡大と流通の効率化		
					目	1	一般管理費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課		内線	2222									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・生鮮食料品の安定供給 ・生鮮食料品の取引の適正化、流通の円滑化	概要	・卸売市場の管理運営
----	-------------------------------------	----	------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	239.7億円	231.5億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		31,000	28,766	30,600	30,600	26,159
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(せり場売上高使用料等)	31,000	28,766	30,600	30,600	26,159
一般財源		0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容					
	地方卸売市場の管理運営(指定管理委託料)	24,860	24,808	24,860	24,860	24,141
	地方卸売市場整備基金積立金	3,300	3,300	3,000	3,000	1,000

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・市民等への生鮮食料品の安定供給及び品質保持管理に努めた。 ・市場運営協議会にて市場における売買取引に関する事項を調査審議した。 ・市場のあり方について関係団体等と随時検討した。 ・公設卸売市場の年間総取扱数量 13,498トン
評価等	・卸売業者の経営改善に向けた指導及び支援を実施するとともに、隣接する卸商業センターを含めた卸売市場の将来構想を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・市民等への生鮮食料品の安定供給や品質保持管理に努めた。 ・市場運営協議会において市場の取り引きに関する事項等を調査審議した。 ・市場のあり方について関係団体等と随時検討した。 ・公設卸売市場の年間総取扱数量 12,618トン
評価等	・卸売業者の経営改善に向けた指導及び支援を実施するとともに、卸売市場の将来構想を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・卸売市場の今後のあり方を早期に検討する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	30,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	(d)-(c)
28,194	30,400	30,400	△ 200
28,194	30,400	30,400	△ 200
0	0	0	0
査定額	説明		
24,860			
3,700			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・卸売市場の管理運営に係る経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり